

体験活動参加型＋講演会形＋在宅取組型（小学校）

学校名等	揖斐川町立 北方小学校
実施日時	平成29年5月～平成30年1月
会場	各家庭
参加人数	100人
学習課題（分野）	元気な身体と豊かな心（子育て）
運営者の願い	仕事も忙しくなかなか親子でふれあう時間が減ってきている。ちょっとしたことでコミュニケーションができ笑顔が増えたと考え、一緒に親子で何かをするという体験的な活動を中心に子どもの健全な心の育成を目指し、PTA母親委員会が中心となって取り組むこととした。



学習の内容

<「親子にちょっと教えて！」アンケート>

○各家庭で行っている健康づくりについてのアンケートを実施。

- ・アンケート項目
 - ・「家族のよいところは？」
 - 「家族で一緒にやってみたいことは？」
 - 「家族に直してほしいことは？」
- ・アンケート結果をまとめて配付。

（アンケートの回答より）

- ・保護者（児童から） 笑っているところ。優しいところ。一緒に同じことをしてくれる。
- ・料理やスポーツ、アウトドアを一緒になってみたい。
- ・ゲームをやめると言いながらスマホをさわらないで。（児童より）
- ・約束はまもってほしい（保護者より）



在宅の取組として、親子で普段思っていることについてアンケートを実施し、回答についてまとめたものを発行した。親子で感じるものが似ていたり、他の家庭の思いを知れたりして、興味深かった。

<苔玉づくり教室 >

○夏休みに町内の花店経営者を講師として、親子で苔玉を製作。40人の定員のところ約60名の参加者があり、親子で協力して作品を作った。

（参加者の声）

- ・初めて苔玉を作ったけど楽しかった。上手くできないところはお母さんに手伝ってもらえてよかった。家で大切に育てたい。
- ・子どもを手伝うつもりで参加したけど、大人も夢中になってできた。親子で同じことができるのもいい経験になりました。



魅力的な体験を親子でコミュニケーションをとりながら楽しく学ぶことができた。家庭でも家族で苔玉に水をあげ、大切にできている。

<親子給食・食育の授業>

○PTA授業参観日に1年生で親子給食を実施。

- ・親子給食を行った後、授業参観で担任と栄養教諭とのチームティーチングによる食育の授業を行い、学級懇談会の中で食についての話し合いを実施。

（参加者の声）

- ・家ではなかなか食べないひじきも、学校では残さずに食べる姿を見て成長しているなど思った。
- ・調理の仕方、子どもも進んで食べることができるので、給食の献立が参考になった。家でも子どもと一緒に作ってみたい。



親子給食の後、栄養教諭からの話を聞き、好き嫌いをしないで食べることの大切さを確認したことにより、学級懇談会で実りある話し合いができた。

<クッキングマイスター>

○「めざせ！北方クッキングマイスター ～自信をつけてひとりだちする・安心しておくりだす日のために～」と銘打って、親子で食事づくりなどに取り組む中で、子どもに食事の準備・片付けや調理についての経験をさせ、技能を身に付けさせていく取組を実施。

（実施後の児童・家庭のコメント）

- ・ふだんなかなかお手伝いもできなかったけど、家族の手伝いがあったし、自分も去年より少しは包丁が使えるようになりました。
- ・子どもが一生懸命に調理をしている姿は頼もしかったです。
- ・妻に任せきりなので、子どもと一緒に調理ができて良かったです。



「食事の前後でテーブルを拭くことができる」（10級）から「肉じゃが、ハンバーグをつくることができる」（初段）まで、38項目を設定し、親子で目標の級を決めて実施した。親子でかわり合いながら楽しく取り組むことができた。